

2019年4月 定例観察会報告書

世話人代表 遠藤ちか子

日 時	2019年4月21日 9時30分～12時00分			作 成 4月24日
探 鳥 地	県立明石公園			報告者 山根
参加人数	在校生1年～3年 31名	顧 問 2名 特別相談役 1名	総計34名	天 候 晴れ
観察コース	9時30とき打ち太鼓→バラ園→仲よし広場→二ノ丸→東ノ丸→薬研堀→桜堀→剛ノ池			
観察概要	<p>県立明石公園は美しい櫓があるので有名なのももちろんだが、球場、競技場や学習図書館を備えると同時に、広大な自然が残されている素晴らしい公園でもある。9時30分遠藤代表のあいさつの後、堀池顧問から今日見られるであろう野鳥たちの説明と、鳴き声を聞くことの大切さなどの説明を受けた後、観察に出発。さっそくキジバトやキセキレイなどが見つかり1年生は大興奮でフィールドスコープをのぞいていた。また堀池顧問は野鳥の観察については普段の生活、散歩などに取り入れて楽しむことが大事だとも説明されていた。石垣の間にはヤブニンジンやアキニレの木(この木の実実はジョウビタキなどが好きらしい)を見つけた。「聞きなし」についても話され、センダイムシクイはさえずりはチヨチヨビーだが聞きなしでは焼酎一杯グイーとか、鳥の声を人の声に置き換える楽しみもあることも話された。最後の剛ノ池では留鳥となっている水鳥と20羽ほどのトンビが居た。どうも餌付けがされている様だ。</p> <p>12時ここで遠藤代表から締めあいさつの後解散した。</p> <p>「確認できた鳥たち」</p> <p>見た アオサギ、イソヒヨドリ、カイツブリ、カルガモ、ヒドリガモ、シロハラ、ユリカモメ、カワラヒワ、キジバト、キセキレイ、ゴイサギ、シジュウカラ、スズメ、セグロセキレイ、ツバメ、トビ、ハクセキレイ、ハシブトカラス、ヒヨドリ、ムクドリ、カワラバト 21種</p> <p>聴いた キビタキ、センダイムシクイ、メジロ 3種</p>			
感想	<p>暖かい初夏のような日差しの中、ゆったりとした探鳥会が出来ました。日曜日でもあり多くの人たちがくつろぐ中を潜り抜け、少し異った楽しみを満喫。1年生の皆さん次回は双眼鏡をもって観察会へ是非来てください。アオバトの聞きなしで「会おー、会おー」です。</p>			
次回予告	<p>(菊水山)石井ダム～鳥原水源地付近 オオルリ、キビタキなどの夏鳥期待。</p> <p>「下見・5月22日(水)」 「本番・5月25日(土)」どちらも神鉄鈴蘭台駅 1F 入口、9:30 集合。</p>			



ゴイサギの幼鳥が確認されました。
皆さん楽しそうです。



坤やぐらの周りを、ぐるぐるとトンビが旋回しています。